

〈国語科〉 4年

「大田区学習効果測定」結果の分析

- ・ほぼ全ての観点において目標値、区の平均正答率、全国平均正答率を上回った。文章を書くことについては、区及び全国平均正答率は上回っているものの、目標値には届いておらず課題として挙げられる。
- ・「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を読む」「漢字を書く」「言葉の学習」「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」「調べた結果の表を基に文章を書く」の問題では、全ての問題において目標値、区及び全国平均を上回っている。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・言葉の学習において、文の構成（述語）について理解することに、課題がある。
- ・3年時の配当漢字を書くことについて、全体的にはできているが、個人差が見られる。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・国語辞典の使い方について全体的にはできているが、個人差が見られる。
- ・話に集中して聞くことや、話の中心に気を付けて話したり聞いたりすること。
- ・友達と互いの考えを比較しながら話したり聞いたりすること。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・児童一人一人が進んで自分の考えを発言しようとする態度を育てること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・漢字の筆順や熟語及びその意味などを丁寧に指導することで、興味や関心を引き出す。
- ・定期的なミニテストの実施によって、反復練習を徹底する。
- ・既習の漢字を使って文章を書くように指導する。
- ・辞書の活用・慣用句・ことわざ・百人一首に親しむなど、日常生活における言語活動を充実させ、語彙を増やす。
- ・一人一台端末を活用し、個別学習を通して、一人一人の進度に合った学習を提供する。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・互いの考えを比較する交流ができるよう、「何のために交流するのか」という目的を明確にする。交流する人数を変えたり、考えを分類し、自分の立場を確認した上で異なる考えの友達と交流したりと、活動の形態を工夫する。
- ・三部構成を意識し、知らせたい事柄を中心にした文章が書けるよう、文型に沿って書く学習課題を設定する。
- ・段落同士のつながりを考えたり、段落同士をつなぐ接続語を考えたりする学習課題を設定する。
- ・学習カードや各行事のめあてカードなどを活用し、自分の思いや考えを限られた字数内で書く機会を設ける。
- ・教材文に書いてあることを正確に理解した上で、書いてあることを根拠にして答えを導くような発問を工夫する。
- ・説明文では、筆者がどのような事実に対して、どのような考えや意見を述べようとしているのかを捉えたり、段落の並び方に注目してそれぞれの段落の中心となる文を見つけて正しく並べたりする課題を設定する。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・交流活動の場面を設けて自分の考えに自信をもたせ、全体に向けて発言しようとする意欲につなげる。
- ・具体物や画像、動画など、視覚的な情報を適宜与え、最後まで話に集中できるようにする。